

【取組内容⑤】 デジタルシチズンシップ教育の推進（3）

長期休業期間中における、家庭での情報端末との関わりについて主体的に考える児童の育成

4～6年 特別活動「夏休みタブレットPCをより善(よ)く使おう！」

夏休みを前に、それまで「サイバー犯罪防止教室」として外部講師を招聘して行っていた講話を変更。デジタルシチズンシップ教育の視点から、家庭に長期間情報端末を持ち帰る夏休み期間中、どのような点に注意し、どう対応（対処）すればよいか考えさせた。

講話は、校長室よりオンラインで各教室に生配信した。



各教室に校長室より配信。①「メディアバランス」について考えよう②「デジタル足あと」について考えよう③「ネットいじめ、オンライントラブル」について考えようの4点について講話。



講話を視聴後、ワークシートに講話内容それぞれについてどう対応（対処）すればよいかそれぞれで考え記入。ワークシートは家庭に持ち帰り、家庭でも夏休み中のタブレットの使い方について考える機会を作った。

＜成果および課題等＞

- 情報端末（タブレット型PC）をより善く使うにはどうすれば良いか、個々の児童がそれぞれ考える事ができた。
- 情報発信する際の責任など、より深く情報発信について慎重に考えようとする姿勢が見られた。
- ▲夏休み直前ということで、急遽設定したため、講話の内容を詰め込みすぎた。一つ一つの案件についてじっくり指導する計画を立てる必要がある。